

1. バイアステープはえりぐり、そでぐり、その他縫いしろの始末に用いられることが多い。バイアステープののびが足りないために、つれたり、また逆にのびしすぎたために、幅が不平均になったりすることがある。そこでバイアステープののびと幅の関係について実験をおこなった。

2. 実験材料 木綿、絹、キュプラ、アセテートなど  
10種および市販品のテープ4種 計14種類

実験項目

① 各種試料の破断伸度

② 各試長の30~25%までのばし10分間放置後ののびと回復状態

③ 各試長の30~25%までのばし、1時間放置後ののびと回復状態

④ 各試長の30~25%までのばし、アイロンかけ後ののびと回復状態

⑤ 各試料に水気をあたえ試長の30~25%までのばしアイロンかけ後ののびと回復状態

3. ③は②にくらべ、のびの約15%内外回復が悪かった。

④と③は回復率には大差なかった。

⑤は各試料ともほとんど回復が認められなかった。幅のはのび状態によりもとの幅の50~70%程度であった。